

当面のスローガン

- 差別事件の糾弾闘争を強化
- 全ての学校で同和教育実践を!
- 全自治体で同和・人権行政を!



解放新聞社山口支局

〒753-0074 山口市中央1-5-3
 TEL 083-923-2303
 FAX 083-921-1919
 http://y-kaihou.jp
 編集発行人 松岡 広昭



福田良彦・岩国市長など多くの来賓から激励メッセージがおくられた

山口県東部地区部落問題研究会第17回講座が、2月21日(木)シンフォニア岩国において開催され、地元の行政・企業・運動団体、関係者など700人が参加し、今後の人権・部落問題解決にむけた有意義な講座となった。

東部地区部落問題研究会は、岩国・下松・柳井・上関・周南支部などが中心となり開催し、今年で17回を迎える。開会行事では主催者を代表して坂田正

実行委員長が挨拶をおこない、来賓あいさつでは福田良彦・岩国市長より、「人権の世紀」と言われた21世紀はすでに7年が経った。しかし、同和問題をはじめ様々

第17回東部地区研究会が成功 部落問題解決に向けて700人が参加

な人権侵害が続いている。法律の整備とともに人権教育・啓発をしっかりと行わなければならない。今後とも、同和問題に対する偏見や差別意識を解消するために取り組んでいこうと、激励のあいさつがあった。

全体講演①では「差別っていったいなんやねん?」というテーマで、川口さんからは、ここ数年、県内で続発するあいつぐ差別事件の報告と、市民からの人権相談の中から明らかになってきた課題について提起

な人権侵害が続いている。法律の整備とともに人権教育・啓発をしっかりと行わなければならない。今後とも、同和問題に対する偏見や差別意識を解消するために取り組んでいこうと、激励のあいさつがあった。

全体講演①では「差別っていったいなんやねん?」というテーマで、川口さんからは、ここ数年、県内で続発するあいつぐ差別事件の報告と、市民からの人権相談の中から明らかになってきた課題について提起

これからの人権啓発を議論 名古屋で人権啓発研究集会

第22回人権啓発研究集会が2月13、14日に、名古屋国際会議場にて開催され全国から3500人が参加し、地域や職場での人権教育・啓発の現状と課題について協議し、これからの展開について学習した。

初日、全体会は2会場でおこなわれた。全体会1では「国際人権法の展開と日本」と題して東京大学法学部教授の岩沢雄司さん、「障害者差別をなくす千葉県条例」と題して毎日新聞記者の野沢和弘さんの記念講演がおこなわれた。

全体会2では、「愛知県における部落差別の実態」と題して部落解放同盟愛知県連書記次長の山崎鈴子さんより、「愛知県の部落女性の実態調査の報告と、昨年発覚し裁判で有罪判決がでた差別ホームページ事件の報告」がおこなわれた。

「愛知県における部落差別の実態」と題して部落解放同盟愛知県連書記次長の山崎鈴子さんより、「愛知県の部落女性の実態調査の報告と、昨年発覚し裁判で有罪判決がでた差別ホームページ事件の報告」がおこなわれた。



「今日の部落差別」について議論するパネラー

「愛知県における部落差別の実態」と題して部落解放同盟愛知県連書記次長の山崎鈴子さんより、「愛知県の部落女性の実態調査の報告と、昨年発覚し裁判で有罪判決がでた差別ホームページ事件の報告」がおこなわれた。

「愛知県における部落差別の実態」と題して部落解放同盟愛知県連書記次長の山崎鈴子さんより、「愛知県の部落女性の実態調査の報告と、昨年発覚し裁判で有罪判決がでた差別ホームページ事件の報告」がおこなわれた。

「愛知県における部落差別の実態」と題して部落解放同盟愛知県連書記次長の山崎鈴子さんより、「愛知県の部落女性の実態調査の報告と、昨年発覚し裁判で有罪判決がでた差別ホームページ事件の報告」がおこなわれた。

された。学校現場の課題としては①人権教育という名のもとに、部落問題学習がなくなっている現実、②「知識」でなく「反差別の主体者」となる人権学習を目標、③「こころがけ」「おもいやり」などの徳目主義的・人権教育の克服、④「縦割りの人権学習」から「横軸の人権学習」へなどの課題が提起された。

②「身近にない」「自分は差別しない」「関係ない」(無関心)、③「そっとしておけば自然になくなる」(根強い「寝字を起すな」)、④「部落出身と見なされたくない」(リスク回避としての差別)、⑤結婚差別の現実・身元調査(利害が絡んだときにホッネが)⑥「社会意識としての差別観念」(多くの市民がマイナスイメージを共有)、⑦悪質な人権侵害に対する指導・救済の限界(人権侵害救済法の必要性)などの課題が提起された。

最後に川口さんは、自身の結婚差別の経験を通して「差別はする側を不幸にする、だから自分のために学習を！」と訴えた。続いて全体講演②では「戦前・部落青年の苦悩」松本淳・桂哲雄」と題して、布引敏雄・大阪観光大学教授より講演がおこなわれた(2面)。戦前山口県での部落青年の活動家・松本淳が部落のトラホーム治療に尽力した話や、松木の後を受けた桂哲雄の部落の人たちとの満州移民「山口村開拓団」などについて語られた。

部落解放第53回全国女性集会 (ご案内)

日時 2008年5月17日(土)・18(日)
 場所 三重県総合文化センター 住所:津市一身田上津部田1234
 内容 記念講演「部落解放運動の現状と課題」 松岡徹・中央書記長
 分科会「解放運動入門」「狭山再審」「差別糾弾闘争」「識字活動」など
 問い合わせ 部落解放同盟山口県連 Tel.083-923-2303